

科目コード:140008

担当教員	北村言、臺 美佐子、紺家千津子、松本 智里、中道淳子、南條裕子、大橋史弥、額奈々、近藤孝朗、瀧澤 理穂、星野真実
------	--

開講年次	3年次後期	単位数	3	授業形態	実習
------	-------	-----	---	------	----

該当デ「イ」マ・ホ・リシ	(1)	(2)	(3)	○	(4)	◎	(5)	(6)
--------------	-----	-----	-----	---	-----	---	-----	-----

学習目的・目標	【目的】 成人期、老年期の慢性のお皮膚病を特徴とする患者と家族を深く理解し、QOLの維持、向上を目指す。また、ケアマネジメントの
---------	---

を養う。
【目標】

3. 慢性的な疾患を持ちながら生活する対象者の家族(近親者含む)を理解できる。

6 看護学生として責任ある行動がとれる

回	内容
---	----

1. 慢性的な疾患を持ちながら生活する成人期・老年期の対象者を受け持ち、地域包括ケアシステムを視野に入れた看護過程を展開し、記録をする。

2) 介護保険施設を生活の場としている人

5. 学習内容

1) 慢性的な疾患を持ちながら生活する対象者の社会的背景や、これまでの生活習慣および生きた過程(ライフストーリー)を

2) 慢性的な疾患を持ちながら生活する対象者の家族(近親者含む)の思いや健康状態を把握し、対象者の家族の持つ家族機能についてアセスメントをする。

4) 対象者に行われた移行支援を学ぶことで、対象者を取り巻く保健・医療・福祉システムや、多職種との連携・協働のあり方、対象者に
要する継続看護を理解する

教科書	疾病・障害論で使った教科書及び資料
-----	-------------------

	1. 計画で使用した教材書及び資料
各事業実施	本計画第1章第1節「第1期計画」第1.1.1節

看護学テキストNiCE 老年看護学概論、老年看護学技術、南江堂
看護学大辞典 第6版 メジカルフレンド社(図書館 e-book利用可)

評価指標	看護ケアの提供状況と取り組み姿勢50% 対象理解と看護過程における思考の整理25%
------	--

成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護方法論演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人・老年看護学実習(各4単位)

医療施設から、生活の場へ移ろうとする対象者の方を、「受け持った患者」ではなく、「慢性疾患を持つ尊厳ある人の生活者」だと思って実習してください。対象者の弱みだけでなく、強みにも目を向け、その方とご家族が望む

--	--